

学術情報基盤オープンフォーラム2021
コンテンツトラック1
次期JAIRO Cloud (WEK03) 本番移行に向けて
2021/7/7

次期JAIRO Cloud (WEK03) 先行移行事例報告：東京大学

東京大学情報システム部情報基盤課
学術情報チーム (デジタル・ライブラリ担当)
ir-support@lib.u-tokyo.ac.jp

松原 恵

この事例報告の内容は報告者個人の見解です



この報告の構成

- UTokyo Repositoryについて
- 先行移行スケジュール

- いつ、何をしたか？
 - 更新停止～確認期間前にやったこと
 - 確認期間中にやったこと
 - 画面デザインについて
 - 確認期間中にやっていないこと
 - 切替期間中にやったこと
 - 環境提供直後にやったこと
 - 担当内での一問一答（抜粋）
 - 本学の運用（抜粋）
 - そして現在

- 先行移行の経験から
- 少しでも楽に本番移行を迎えるために

UTokyo Repositoryについて

<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

- 2017年にDspaceからJAIRO Cloudに移行
- メタデータ件数 : 55,000件程度
- 年間登録件数 : 2,000件程度
- コンテンツの種類 : 学位論文、紀要論文が大半
学術雑誌論文、論文付随データも登録
- 全件にCNRIハンドルを付与
- 博士論文、紀要論文を中心に、DOIを付与

発表者のリポジトリ歴

Dspace時代にほぼ登録業務のみ2年間従事

2020年度から出戻り、WEKO2利用歴1年、WEKO3利用歴数か月

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続	停止	リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間			「確認チェックリスト」の対応
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知 そして、怒涛の登録作業
現在				

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続	停止	リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間			「確認チェックリスト」の対応
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知 そして、怒涛の登録作業
現在				

更新停止～確認期間前にやったこと

リニューアルによるページレイアウト変更等を提案・合意

- 当初2月頃に移行予定だったので11～12月に附属図書館の合意を得た
- ページレイアウトは移行を機に大幅に整理し、見やすくすることにした

利用者への周知

- 内容：閲覧停止期間、リニューアルによる主な変更点を紹介
- 参考：https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/news/repository_20210225.html
- 方法：ウェブサイトでの広報のほか、紀要発行元、近年登録実績のある研究者へ一斉メール送信

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続		リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間		停止	
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知 そして、怒涛の登録作業
現在				

確認期間中にやったこと

利用者がリポジトリを見て違和感がないように整えることを

この期間の自らのミッションとした

そのため、優先順位は以下のように決めた

1. 画面デザインの調整
2. 移行データ確認（チェックリスト記載のことを最低限※）
3. システムの不具合の確認（特に利用者に影響するところ）
4. 登録テスト

※次々頁「確認期間中にやっていないこと」も参照

画面デザインの調整について

ウィジェットの修正・作り直し

- 本学では、Main contentsやMenuなど以外のほぼすべてのウィジェットを作り直した。レイアウトや説明内容を変更しなかったし、WEKO2で凝ったHTMLの記述をしていたため
- 通常は、移行されたウィジェットを確認して、WEKO2と見比べて調整すればよい程度だと思う

Main contents（=WEKO2時代の「WEKOモジュール」）

- 複数ページに配置しているとエラーになるので最初に対応。日英トップページなどにWEKOモジュールを配置しているケースが多いので、最初にどちらかからMain contentsを削除する必要がある

日英ページの統合

- （本学では英語ページに一部不十分なところがあったので、ほぼすべての英文を見直して修正した）

WEKO2のページの保存

- 画面キャプチャや、ソースコード（モジュールでhtml編集するときに表示されるソース）のバックアップをしておくとうい。ソースコードはWEKO3でそのまま利用できる

確認期間中にやっていないこと

チェックリストに記載されているが
本学で判断して行わなかったこと

「必要に応じてアイテムタイプを修正してください。」

- プロパティの削除は怖いのでしていない
- 確認期間中には追加もしていない

「必要に応じてマッピング設定を修正してください。」

- 何もしていない

「必要に応じてアイテムメタデータを修正してください。」

- ほとんど何もしていない。WEKO2で一時的にイレギュラーな値を入れていたアイテム数件のメタデータを修正しただけ

確認期間中にやっていないこと

チェックリストに記載されているが
本学で判断して行わなかったこと

「全てのインデックスが移行されていることを確認してください。」

- インデックスが多すぎて全部確認するのは無理だった（第一階層、第二階層ぐらいしか確認できなかった）。

「全ての著者名典拠が著者DBに移行されていることを確認してください」
「必要に応じて著者DBの修正をしてください。」

- 本学はWEKO2で著者名典拠は運用していなかったなので特になにもせず

「必要に応じてワークフローを作成してください。」

- 作成していない。デフォルトのままです。

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続	停止	リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間			「確認チェックリスト」の対応
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知 そして、怒涛の登録作業
現在				

切替期間中にやったこと

必要な機関のみの作業

DNS切替

- 本学独自のFQDNを用いたいため、DNS設定している（現在のドメインがnii.ac.jpの機関はこの作業は不要）
- 事務局から送付されるCNAMEを本学側のDNS設定方法にて設定しただけ

CNRIハンドル切替依頼

- 事務局から送付されるファイルを、所定のCNRIの宛先にメールするだけ。メール文例も事務局から提供されるので適宜修正して利用可能
- CNRIへ送信したメールが迷惑メール扱いとなってしまう、しばらく返信がなく、対応が遅れてしまった。リマインドすればよかった

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続	停止	リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間			「確認チェックリスト」の対応
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知 そして、怒涛の登録作業
現在				

環境提供直後にやったこと

利用者への周知

- リニューアルしたこと、確認している不具合など
- <https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/news>. 3/24, 25付けのお知らせを参照

登録

- CNRIハンドルが登録できないなどの不具合があり、しばらく登録再開できなかった

その他

- 一括登録のテスト、運用の検討などを行った

担当内での一問一答（参考・抜粋）

移行当初、登録担当者内で
情報共有したことの抜粋

- アイテム登録前にインデックスを登録する必要があるが登録完了までインデックスを非表示にできるのか
 - 登録開始直前まで非公開にして、登録開始時点で公開にすればよいと思われるが、別にインデックスを非公開にする必要はないと思うので、いまは新規にインデックス作ったら公開のままにしている
- インポート機能での登録時、.POS_INDEX[0]と.IndexID[0]はどちらかを書けばよいと思うが、どちらも記載してもよいのか
 - どちらも記載してよい。WEKO3基本マニュアルのなかに「※1 インデックスの指定について」として説明あり
- インポート用テンプレートの「Required」は必須という意味だと思っていたが、値が入っていない項目もある。あまり気にしなくてよいか？
 - Keep/Upgradeのところは更新のときのみ必須、新規登録では不要。その他、Systemと書いてあるところはRequiredになっていても記入する必要はない。システムが自動入力してくれるところなので。それ以外のRequiredは必須だと思う
- インポート機能での更新時、Keep/Upgradeのどちらにするのか
 - 基本、Keepがよさそう。あえて旧バージョンを残したい場合のみUpgrade（6/24時点で実績なし）

本学の運用（参考・抜粋）

システムやメタデータスキーマの変更にあわせ運用も調整

アイテムタイプ

- 基本、移行当初のまま、ほとんど変更していない

タイトル、著者名の別言語の登録方法について

- junii2時代は「その他のタイトル」「その他の著者」などで登録していたが、JPCOARスキーマに沿って、「タイトル」や「作成者」の項目内に、別言語も記述することに

著者所属の登録方法について

- junii2時代は「著者所属」という独自項目を設定していた。JPCOARスキーマでは「作成者」に作成者所属機関を記述できるが、あくまで「機関」なので、学部等は記述できない。そのため独自項目として「著者所属」は残すことに

著者版フラグ

- junii2の「著者版フラグ」はJPCOARスキーマでは「出版タイプ」を用いるため、そのように変更

インデックス

- サムネイル画像サイズが上限の1024px * 1280pxだと巨大になりすぎるので高さを「320px」に固定して画像を作成

PDFカバーページ

- 出力される項目が微妙なので運用を停止

先行移行スケジュール

日程	主な移行イベント	サービス 状況	登録業務	本学で行った主なこと
2/22	WEKO2更新停止	継続	停止	リニューアル計画、学内周知
3/8-3/19	WEKO3確認期間			「確認チェックリスト」の対応
3/23	JAIRO Cloud切替期間	停止		DNS、CNRIの切り替え
3/24	WEKO3環境提供	再開		学内周知
現在				そして、怒涛の登録作業

そして現在

積みあがった過去依頼分の登録作業を続けている

- 本学の前田朗氏作成の簡易一括登録ツール：WEKO3 Simple loader（仮）を試行、援用
 - 特に繰り返しの多い項目（作成者、主題等）で効果的

本学の課題（7/1現在）

- インポート機能での一括登録・一括更新のノウハウの引継ぎ
- 過去に登録したアイテムについて、JPCOARスキーマに対応しメタデータを修正したい
 - 件数が多いため保留中
- JPCOARスキーマでの外部連携に関する理解を深めたい

先行移行の経験から（感想）

- システム移行時にはいろいろなことが起きる
- 障害？ 仕様？ 制限事項に記載ある？ 自機関のデータや運用の問題？ 他機関ではどう？
→自分で調べ、考えることで、WEKO3やJPCOARスキーマに（多少は）詳しくなった
- とにかく公開されているドキュメント類をよく読んだ（つもり）
- 管理画面にできることが集約されているので、個人的にはWEKO2より操作しやすい
- β テスト→第二次 β テスト→先行移行と、着実にシステムはよくなっていると感じる
→先行移行が今年度の本番移行の糧となっていれば嬉しい
- サーバ管理などの作業が利用機関側では不要となる一方で、カスタマイズなどの柔軟性に欠けるのは仕方ない……

少しでも楽に本番移行を迎えるために

情報源を整理しておく

- 実施要領ほか[本番移行資料](#)、
リリースノートを含む[JAIRO Cloud \(WEKO3\) サポートサイト](#)、
[JPCOARスキーマガイドラインのサイト](#)、
[JPCOAR JAIRO Cloud Community ML](#)のアーカイブ、など

問題が発生したとき、自機関のデータを見直す

- 意外と、自機関のデータに不備があっとうまくいっていないこともある
- アイテムタイプのメタデータ項目設計、アイテムタイプのマッピング、インデックスの状態、アイテムのメタデータの入力内容など

後戻りできないことは慎重に

- アイテムタイプとアイテムの紐づけ、DOI登録など
- 逆に後戻りできることは、間違えたら後で修正すればいい